

蒲田地区優秀作文

税と共に笑顔の花が咲く未来へ。



大田区立南六郷中学校 三年 朝倉 舞

私の親は共働きで、私が小学一年生から小学四年生の一週間に六日、学童保育の「放課後ひろば」に通っていました。ここには、沢山の先生、おもちゃ、遊具、工作道具、お菓子、本、楽しさがいっぱい詰まっていたところでした。これだけの色々なものがあつたので、月謝は高かったのだろうと思い、母に聞いてみると「五千円ほどで助かった。本当にありがたい場所だった。」と言っていました。私はそれを聞いてとても驚きました。なぜ、あれだけの質の高い場所で月謝が安いのだろう、と疑問が湧いてきました。それは、税金のおかげでした。税金がこのような場所にも使われていることに驚き、とても衝撃を受けました。もし、私立の民間学童に行っていたら、公立の学童保育の何倍ものお金がかかり、親にとっても大変な思いをさせていたのではないか、と思います。

公立の学童は、文部科学省管轄の学童です。地域の大学生や高齢者、民間教育事業者、NPO法人など、さまざまな人材・団体の力を得て運営されていますが、ほとんどの多くは、税金で賄われています。私が何気なく購入していた商品の税金が、待機児童解消のための保育園の増加や、保育士をより多く配置して子供たちを手厚く世話したりすることな

どに使われています。また、学童保育や、子供を預かるなど有償ボランティアを運営する、ファミリー・サポート・センター事業の充実にもあてられていることを知りました。

また、私たちの身近な消費税は、平成が始まった一九八九年に導入され税率は三パーセント、五パーセント、八パーセントと上がり、今は十パーセントの消費税を払います。これからは、十五パーセントから二十パーセントに上がっていくでしょう。

しかし、これからは税金に助けられて生きていくと思います。税金が増えていくことに少し抵抗がありますが、今回税を調べてみて税はとも必要だと思つし、増えていくことはとても重要な役割をしていると思います。

私は、税金に助けられ今までを過ごしてきました。沢山の思い出が詰まっている場所で楽しい毎日を多くの税金に助けられて、今まで安全に笑顔で過ごしてこられました。そんな笑顔が沢山増え、一人でも多く笑っている未来になるのであれば、私は税金があっても良いと思います。むしろ、税金を支える一人になりたいです。私たち子供の力で、全員が税金を払うべきだと思う未来にしていきたいです。私のように税金の力で多くの人が助かり、知っていき、広がっていく、このような未来になることを私は願っています。そしてこれから社会の一人として貢献していきたいです。税と共に未来に大きな花が咲きますように。